

# 令和3年度 横浜市六浦地区センター事業計画書

## 1.管理運營業務の基本的な考え方

地区センターの設置目的：地域住民の自主活動や相互交流を深めること  
金沢区区政運営の基本目標：『地域の皆さまと共に考える、挑戦する、つくる！』  
地域住民の自主活動を支援する「楽しみの場」として、六浦地区センターを運営してまいります。

横浜市六浦地区センターは、平成28年度より株式会社有隣堂が指定管理者として運営しています。令和3年度も、弊社の「文化、教育に関する商品の販売を通じて地域社会に貢献する」という経営方針を基に、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底したうえで、地区センターを「地域のコミュニティ醸成の場」として運営していきます。コロナ禍でも参加できる自主事業の企画立案と実施、書店運営の強みを活かした読書環境の提供など、地域に根ざした「楽しみの場」を創出していきます。

また、六浦地域ケアプラザと連携して地域住民の交流拠点の役割を担い、安心安全に利用できる施設として共に発展していきます。

## 2.地区センター運営の取り組み

令和3年度は次のサービスに取り組みます。

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| (1) 読書環境の充実   | 子どもたちの読書環境への応援             |
| (2) サービスの向上   | 老朽化した設備の積極的な改修             |
| (3) 自主事業の実施   | コロナ禍でも開催可能な方法による事業の実施      |
| (4) 安全管理      | 新型コロナウイルス感染症予防に対応した人員配置    |
| (5) 情報発信      | HP、センターだよりやSNSを利用したPRや情報発信 |
| (6) 利用者ニーズの把握 | 利用者アンケートの実施や利用者会議での意見収集    |
| (7) 職員の育成     | 定期的なスタッフミーティングの実施および研修     |

### (1) 読書環境の充実

弊社の書店運営のノウハウを活かし、話題本や季節の本の展示を継続的に行います。新着本は大人向け子ども向け同数配架します。

夏休み前には、全国読書感想文コンクール課題図書配架を早めに行い、多くの子どもたちに読んでいただく機会を設けます。

### (2) サービスの向上

全館、LED化を推進したことにより、さらに快適にご利用いただける施設になりました。今後も老朽化した設備の順次改修に努め、利用者ニーズに添った備品の購入や、古くなった什器の買い替えを進めるなど、利用者にとって快適な環境を整えてまいります。

### (3) 自主事業の実施

従来の実施方法を見直し、コロナ禍でも安心して参加でき、来館せずに参加できる事を行います。安心安全を考慮して持ち帰り料理教室や参加者数を減員した講座、リモート講座などを開催します。また、健康志向に鑑みた陰ヨガ教室、カラオケ機材を利用した健康体操教室や、子育て世代に向けたおもちゃ病院、わらべうたなどを継続的に実施します。新たな企画としてはプログラミング教室などの事業も積極的に開催します。

### (4) 安全管理

年間の維持管理・保全計画を作成し定期点検を実施します。また、日々の見回りにより施設を良好な状態に保ち、利用者にとって安心安全で快適な空間を提供します。職員、スタッフが感じたヒヤリハット事例を共有することで改善に繋げ、事故を未然に防ぎます。

施設内の1日に複数回の洗浄や拭き上げ、積極的な換気を実施するための人員を配置し、新型コロナウイルス感染症の予防に努めます。

入館時のフェイスサーモグラフィによる体温計測や館内随所に消毒用アルコールを設置し、利用後にはウイルスに有効とされる洗浄剤での清掃を利用者と協力のもと進めます。

### (5) 情報発信

ホームページにイベントや自主事業のお知らせを掲載し、サークル紹介も定期的に更新することで利用者が楽しめるものにします。また「地区センターたより」を継続して発行し、地域の自治会や区内の地区センター、六浦駅構内PRボックスなどへ配布します。HPやTwitterでは最新の開館状況などの即時性のある情報発信を行います。

ロビーのショーケースや通路を使い、団体や講師、地域の方の作品を積極的に展示していただき、サークルメンバーの発掘や事業の宣伝に結びつけます。地域で活動されている団体の募集ポスターも随時掲示します。

### (6) 利用者ニーズの把握

コロナ禍でも利用者の声を伺える利用者会議を検討し開催します。

利用者アンケート実施の他に、カウンターで承るご意見や意見箱のご意見についても収集し、職員間で共有・検討することで、求められている事業の企画や実施、図書の購入、環境整備等で運営に反映します。

### (7) 職員の育成

弊社が受託している市内地区センターの館長会および副館長会はリモートで実施し、各館の様々な問題に全員で取り組むことで、課題解決の糸口を探るとともに情報を共有します。

六浦地域ケアプラザとの合同の避難訓練やAED講習と、弊社独自の個人情報保護研修、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修を実施します。

またスタッフミーティングでは、日頃の業務や利用者対応等についてスタッフ全員で確認し、業務や対応の質を向上させます。